

1. 科目名(単位数)	日本語学Ⅳ(文字・表記) (2単位)	3. 科目番号	
2. 授業担当教員	今井 新悟		
4. 授業形態	講義と演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	日本語の文字・表記は日本語学習者にとって最も難しいと言われる。文字・表記を合理的に教えるためには、日本語の文字・表記に関する知識が不可欠である。本講座では、漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字など日本語の文字の一般的な知識を得ると共に、日本語の表記法についても学ぶ。		
8. 学習目標	1. 漢字の構成を理解し説明できるか。 2. 漢字の訓読みや音読みについて理解できたか。 3. かなの歴史的背景が理解できたか。 4. ローマ字の表記についての知識が得られたか。		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	・クイズ(=ワークシート)		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】今井新悟『いちばにやさしい日本語教育入門』アスク出版,2018 【参考書】三省堂編修所『新しい国語表記ハンドブック第九版』三省堂,2021		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 漢字の構成を理解し説明できるか。 2. かなやローマ字の表記についての知識が得られたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への出席・態度 総合点の30% 2 期末試験 総合点の20% 3 課題(ワークシート・発表) 総合点の50% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	日本語は漢字・平仮名・カタカナ・ローマ字、アルファベットのうように複雑な表記方法を持っています。表記の仕組みについて学びます。日本語教育の観点からは、漢字圏と非漢字圏の学習者の違い(学習者として学ぶ立場からと教師として教える立場から)について考えます。		
13. オフィスアワー	最初の授業で説明します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション、1. 文字(ひらがな、カタカナ)	事前学習	pp.42-47を読む。
		事後学習	クイズに答える。
第2回	1. 文字(漢字、漢字の成り立ち、フォント)	事前学習	pp.48-51を読む。
		事後学習	クイズに答える。
第3回	2. 語彙	事前学習	pp.52-54を読む。
		事後学習	クイズに答える。
第4回	3. 語の種類	事前学習	pp.54-60を読む。
		事後学習	クイズに答える。
第5回	4. 語構成	事前学習	pp.60-69を読む。
		事後学習	クイズに答える。
第6回	5. 類義語	事前学習	pp.70-78を読む。
		事後学習	クイズに答える。
第7回	練習問題、考えよう	事前学習	pp.79-80を読む。
		事後学習	pp.79-80の質問に答える。
第8回	送り仮名の付け方	事前学習	オンライン資料を読む。
		事後学習	クイズに答える。
第9回	外来語の表記	事前学習	オンライン資料を読む。
		事後学習	クイズに答える。
第10回	ローマ字の表記	事前学習	オンライン資料を読む。
		事後学習	クイズに答える。
第11回	日本語の文字・表記の歴史	事前学習	オンライン資料を読む。
		事後学習	クイズに答える。
第12回	世界の文字・語彙と日本語	事前学習	オンライン資料を読む。
		事後学習	クイズに答える。
第13回	日本語能力試験の文字・表記・語彙1	事前学習	オンライン資料(日本語能力試験)を解く。
		事後学習	オンライン資料(日本語能力試験)を全問正解するまで繰り返す。
第14回	日本語能力試験の文字・表記・語彙2	事前学習	オンライン資料(日本語能力試験)を解く。
		事後学習	オンライン資料(日本語能力試験)を全問正解するまで繰り返す。

第 1 5 回	日本語教育能力検定試験の文字・表記・語彙	事前学習	オンライン資料（日本語能力試験）を解く。
		事後学習	オンライン資料（日本語能力試験）を全問正解するまで繰り返す。
期末試験			